

【災害時の情報伝達】

豊岡市からの外国人への防災情報の提供

豊岡市防災課

1. 豊岡市の紹介

本市は、平成 17 年 4 月 1 日に兵庫県の北東部に位置する 1 市 5 町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併してできたまちである。人口は平成 29 年 11 月末時点で約 83,000 人で、うち外国人は約 600 人が居住し、国籍別では韓国・北朝鮮、フィリピン、中国が高い割合を占めている。また、外国人はここ 2～3 年で見ると増加傾向にある。

また、平成29年上半期の豊岡市外国人延べ宿泊者数は約25,000人である。宿泊者数の9割を占める城崎地域で見ると、東アジアが約5割、欧米豪が約3割という比率になっている。

2. 外国人への防災情報の提供

(1) 災害時における市内の外国人への情報伝達に関する覚書

本市では、災害時に市内の外国人へ情報を伝達するため、「NPO 法人にほんご豊岡あいうえお」及び「豊岡市国際交流協会」と平成 26 年 11 月に「災害時における市内の外国人への情報伝達に関する覚書」を締結した。

NPO 法人にほんご豊岡あいうえお及び豊岡市国際交流協会では、豊岡市から受けた避難情報等を LINE（ライン）、Facebook（フェイスブック）等の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、ファクシミリ、電話等により、各団体と関係のある市内の外国人に向けて可能な範囲で伝達することとし、在住外国人の円滑な避難行動に寄与している。

(2) 「やさしい日本語」による防災マップの活用の手引き

本市では、平成 28 年度に 10 年振りに新たな防災マップを更新し、3 種類のマップ（①水害・土砂災害防災マップ②標高マップ③白地図）を全戸配布したが、外国人には情報の意味が伝わりにくいことから、防災マップと併せて活用方法を記載した「活用の手引き」を NPO 法人にほんご豊岡あいうえおに依頼し、在住外国人の方にもわかりやすい『やさしい日本語』による「活用の手引き」として別途作成していただいた。

『やさしい日本語』による「活用の手引き」は NPO 関係者や受講生等に配布するとともに市ホームページにも掲載し、広く周知している。

また、NPO 法人にほんご豊岡あいうえおの依頼により、防災に関する出前講座を NPO の実施する日本語教室の受講生等（在住外国人）を対象に実施し、防災を学ぶ機会を提供し地域の防災力の向上に取り組んでいる。

